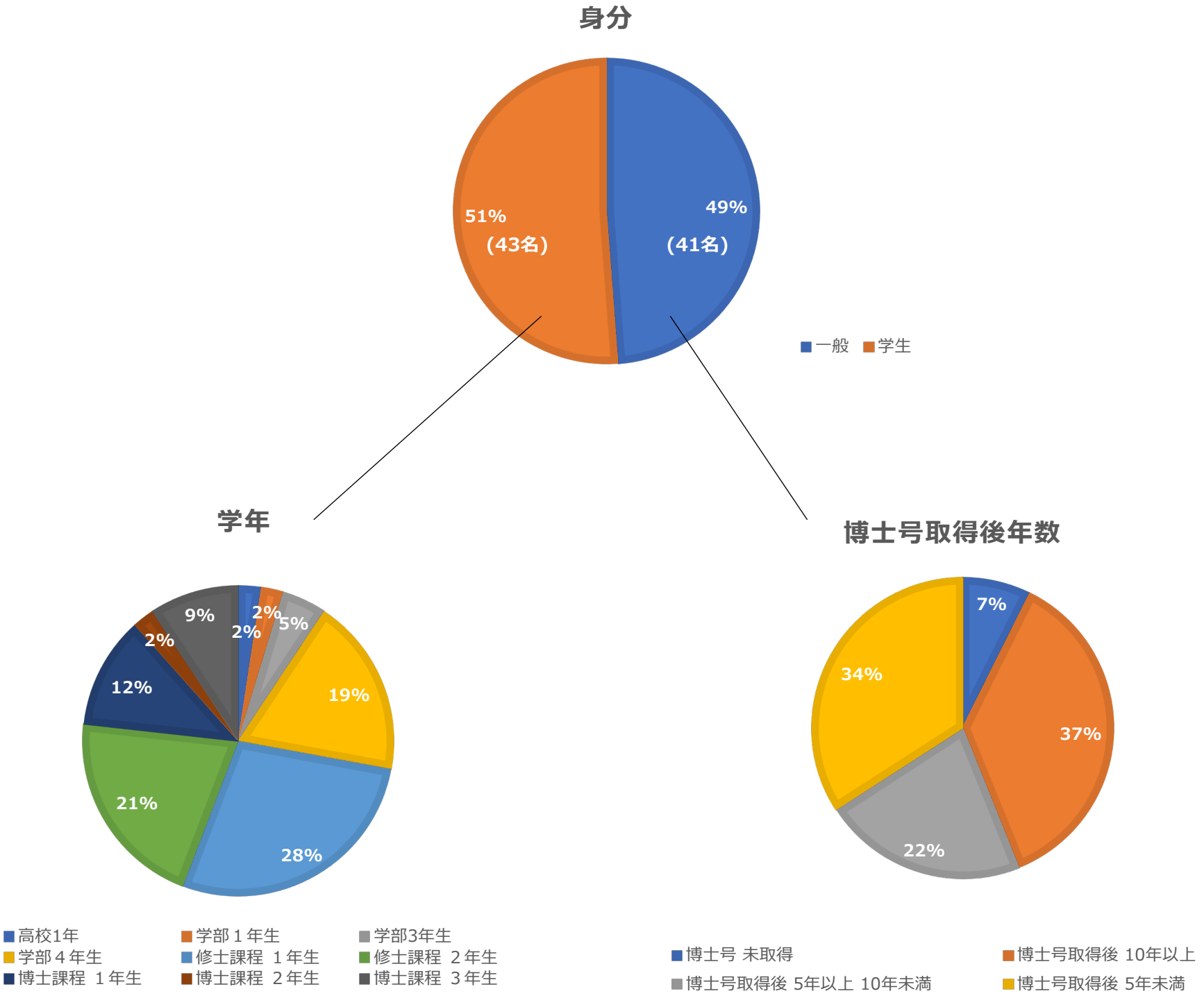
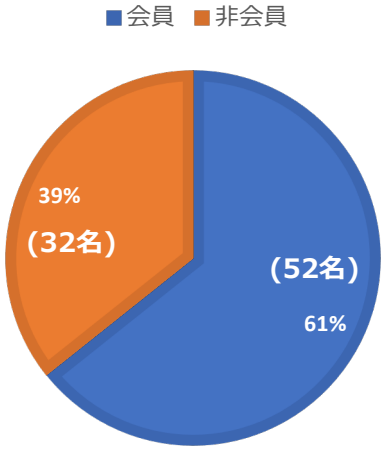
2020年地球化学会ショートコース 参加者

最終申し込み者: 84名

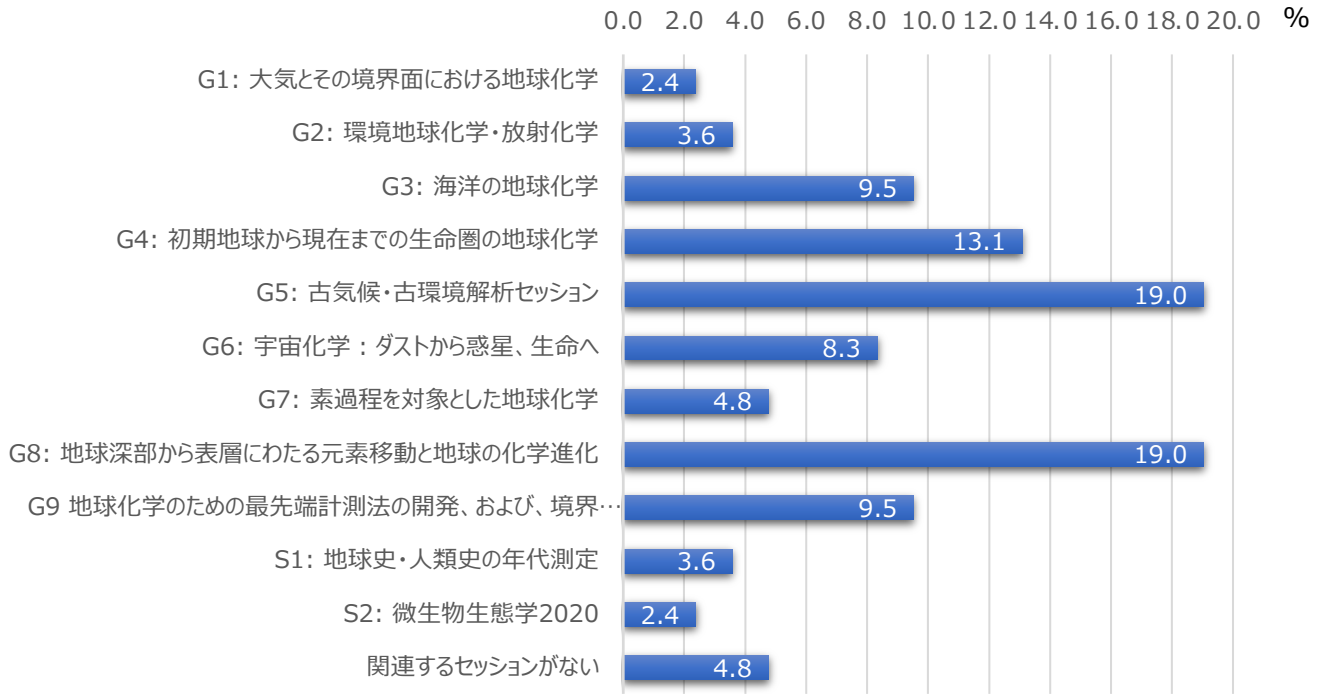

身分
51%
(43名)
49%
(41名)
一般
学生
学年
2%
2%
5%
19%
28%
21%
12%
2%
9%
高校1年
学部１年生
学部3年生
学部４年生
修士課程 １年生
修士課程 ２年生
博士課程 １年生
博士課程 ２年生
博士課程 ３年生
博士号取得後年数
7%
37%
22%
34%
博士号 未取得
博士号取得後 10年以上
博士号取得後 5年以上 10年未満
博士号取得後 5年未満

地球化学会の会員ですか？



非会員：7名新規入会

関連するセッション

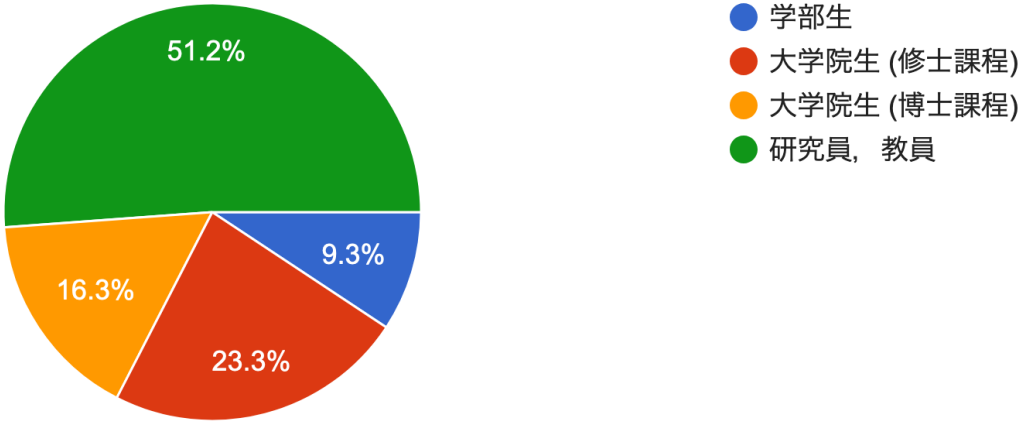


2020年地球化学会ショートコース アンケート

回答43件

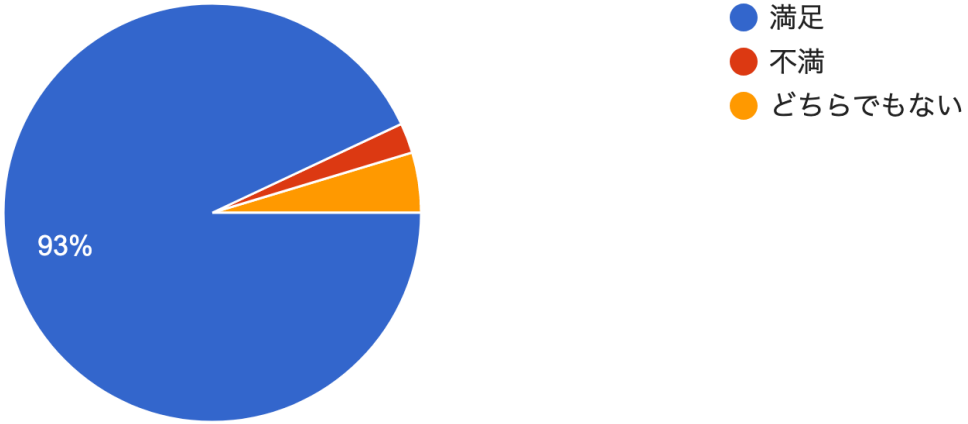
1.　身分をお聞かせください

43 件の回答



2.　2020年日本地球化学会ショートコース全体について

43 件の回答



理由: “満足” 回答

- 運営の連携がとれていてとてもスムーズに進行していたと思います。楽しかったです。
- 内容が豊富、たいへん準備が手厚いことがわかりました（自画自賛ですが、、、)
- 様々な分野の話を聞くことができた
- どの講演も興味深く楽しかったです。
- 自分の研究や近い分野以外の話を沢山聞け、勉強になりました。
- 普段なかなか聞くことができないようなお話をたくさん伺うことができたため。
- 様々な地球化学分野のお話が聞けたから
- 発表が、比較的真面目なものから、ラフなものまであり、バランスが良かった。
- 学部生という研究を始めたばかりの立場から、様々な研究の世界、キャリアを知れたことは貴重な機会でありました。
- いろいろな切り口でお話が伺えて充実していました。
- 充実した内容で、発表者のバランスもよく、とても面白かったです。シュートコースはオンラインの方が家から参加できるので、休日でも参加しやすいです。
- 地球化学に関連した多分野の講演を聞くことができたため.
- 好きなところにいながら、楽しく興味深い話を聞くことができました。特に30-40台のもっとも研究できる世代の人の最新の話が聞けたのはよかった。運営、ごくろうさま。
- 自分の研究に関わることや、それ以外のことでも学びにできることがたくさんありました。
- 概ねうまく話せた
- オンラインならではの企画が盛り込まれていたため
- 非常に注意深く企画され，間違いなく学生や多くの若手が大きな刺激を受けたと感じた。
- とても充実した内容でした。
- 各分野で精力的に研究されている先生方の話が面白く、また双方向的に参加できるシステムになっていた点で非常に有意義な時間を過ごすことができました。

(つづき)

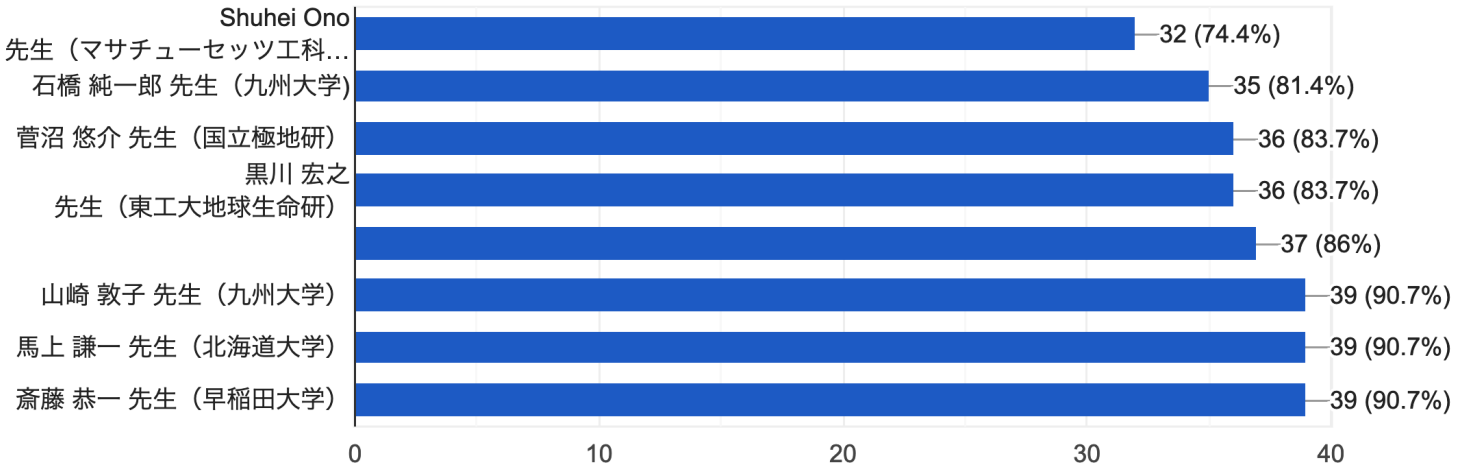
- 幅広い分野のお話を聞くことができて、有意義な休日を過ごすことができました。
- 進行は非常にスムーズでした。各講演もそれぞれ趣向が凝らされていて勉強になりました。午前、午後、夕方で少しずつ趣向の異なるテーマが設定されていることにより、多方面における刺激をいただけました。若手には、こういったバリエーションに富んだラインナップがためになって良いと思います。
- 魅力的な発表者、オンラインによる参加のしやすさ（内職しながらの参加ですみません）
- オンラインで参加しやすく、内容が面白かったため
- とても充実していました。講師の方も運営の方も力の入れように驚きました
- 運営が非常にスムースかつ，幅広く魅力的な講演が聴けた
- 話題提供者の分野，年齢層が広くて楽しめました.
- 多様なトピックを聴けたのはとても勉強になった
- 通常の学会発表とは一味違い、先生方のキャリアも含めたざっくばらんなお話しが聴ける機会がとても貴重に感じました。またある特定の分野に閉じず、様々な分野のお話しが聴けて面白かったです。
- 専門分野外での発表を聞き、現在の研究に生かせるアイディアをもらえた。また、他の学生がどのような分野に興味があり、どの程度の研究を行っているかを間接的にではあるが、感じることができた。
- 第一線で活躍する研究者の研究内容やキャリアについて、じっくり話を聞ける機会は他にあまり無いから。オンラインで宿泊費がかからなかったのも嬉しかったです。
- 各講演者が関わってきた研究の流れやキャリア形成（ワーク・ライフバランス）、理系英語（文章術）といった内容を一斉に拝聴できたことで、自分にとってかなり参考になった内容となりました。

“どちらでもない”, “不満” 回答

- 今回はサイエンスの内容がいつもより少ない気がしました。もう少し公演数を減らして、基礎からがっつり講義してもらうのもいいかなと思いました。
- 開催時間が非常に長かった
- 前日にzoom配信URLがおくられてこなかったため、入場できなかった。

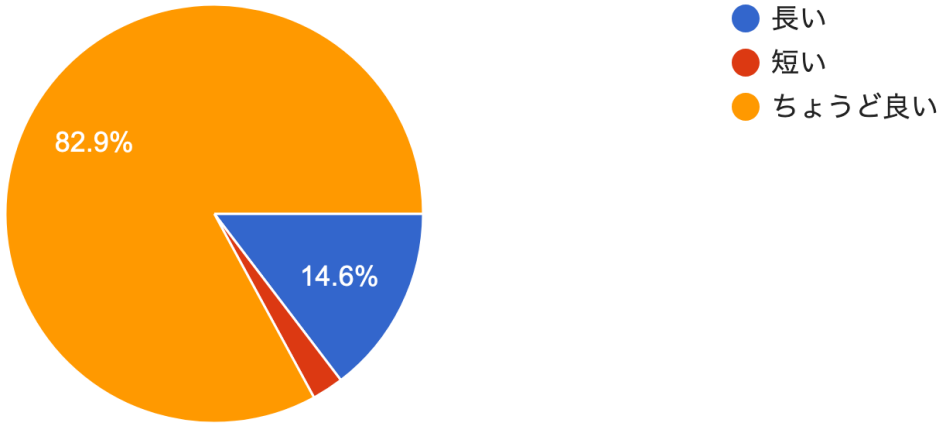
3.　どの先生のご講演に参加しましたか

43 件の回答



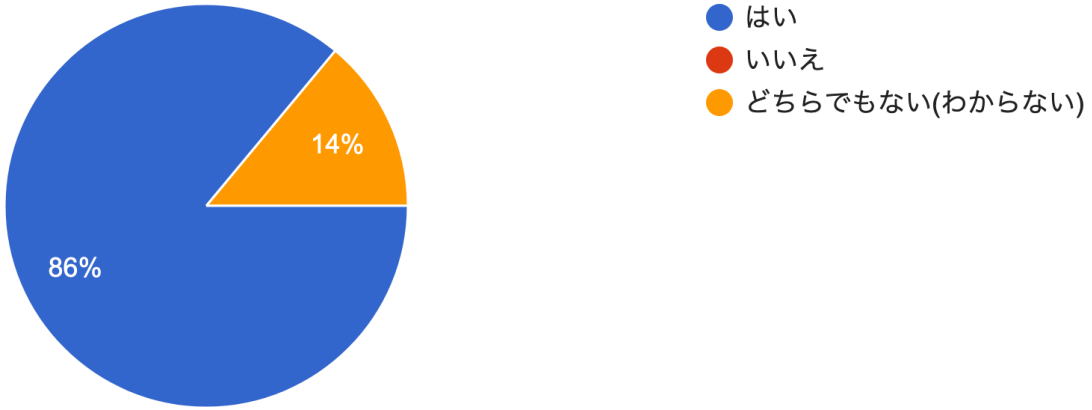
4.　ご講演の時間について

41 件の回答



5.　オンラインでのショートコース開催は持続すべきと思いますか

43 件の回答



オンライン開催を継続すべき理由について

- 移動しなくてよいから気軽に聞ける、質問しやすい
- 自宅から参加できるのは地方の学生としてはとてもうれしいです。
- す「べき」かどうかはわかりませんが、遠方からでも低予算で気軽に参加できるので助かる人は多いかなと思います
- 研究とテクニカルな話、どちらも必要と思います。
- 気楽に参加がしやすい。
- いろいろな人を呼べるのはとてもいいと思います。
- 機会があれば次回以降のショートコースにも参加したいので。
- 自宅から気軽に参加できるため。
- オンラインであるため気軽に参加できるから
- 論文や著書を読んだだけでは知り得ない、先生方の人柄、或いは最近の研究状況などを知ることができるからです。

オンライン開催を継続すべき理由について (つづき)

- オンラインならでは聴ける海外在住の方のお話やラボツアーがとても面白かったです。
- 学会と別日でも参加しやすいため。出張費がかからなくていい。
- 日曜の朝、居間にいながら勉強できるなんて素晴らしい。
- 遠方の方であっても参加できるため、素晴らしいと思います。また、学生としてはオンラインの方が気軽に参加しやすく感じました。
- 移動せずとも気軽に参加できる。もし運営の方のご負担が大きくなければ。
- オフラインでできればそれに越したことはない。
- 気軽に参加できる点、演者・参加者ともに場所の制限がない点、学会参加・非参加に関わらずショートコースには参加できる点などから、今後もオンラインでやる利点が多いと感じました。
- 学生さん・若手にとって非常にインパクトが大きく，将来の基盤作るために活かされると思いました。
- 一方向的なスタイルによってしまいますが、オンライン講演という形は自費じゃないといけない学部生・院生に研究の内容や活動について知ってもらうとても良い機械になっていると思うため。
- オンラインのため、気軽に参加できる（移動時間が省略でき、時間の融通がしやすい）ため。
- 例年、年会前に開催されていたが、対象となる学生にとっては、会費が無料となったとしても、時間的、金銭的な負担が大きく、参加に向けたハードルが高い。また、自身の都合でどうしても全日参加が難しい場合でも、途中参加が容易であるため、多くの方が参加しやすい環境であった。もちろん、対面での講演も大切だと思うので、今後は対面とオンラインを組み合わせた開催が望ましい。
- 個人的には、例年通り年会に付随するイベントとして現地で開催できるのがベストだと思います。それが難しい状況では、今回のようにオンラインで開催していただけるとありがたいです。現地開催であれオンラインであれ、次回もまた参加したいと思います。
- オンラインの方が、参加するための時間を作りやすい上に、努力次第では対面の時に劣らない程のやり取りができそうなことから、そのように考えました。

オンライン開催を継続すべき理由について (つづき)

- 開催地からの距離に関係なく参加できる。
- 遠方での開催となってしまった場合やはり交通費や宿泊費がネックになってしまうので、対面とオンラインの併用のような形で開催していただけると気兼ねなく参加できるので嬉しいです
- どこからでも参加できるのは利点ですが、回線状況が問題になることもあるので。
- 海外、遠方の講師にはオンライン、国内は直接話を聞きたいから。
- 気軽に参加・入退室ができるので、ショートコースとオンラインの相性は良いと思います。一方で、共同研究などの幅が広がる可能性が高い年会はできれば対面で参加したいです。飲み会も、もちろん対面が望ましいので、うまく使い分けるのが良いと思います。
- 現地開催の際は学生主体ですが、オンラインだとポスドク以降も参加できて非常に良いと思いました。
- 現場にいなくても参加できる＆遠方の方にも講演してもらえるチャンス。海外や喜界島からの中継がとても良かった。
- 参加のハードルが低い、今はしていませんが日程がつかなかった人も録画で視聴可能等の発展の余地があると思います(するかどうかは考え方がいろいろあると思いますが)
- ショートコースに関してはオンラインでやるメリットが大きい（呼べる人の選択肢が増える）
- 少しでも興味のある人が参加しやすく、また地球化学の研究について知るきっかけになるため。
- 参加しやすい、という意味ではオンラインも悪くないと思った。
- ショートコースの目的が曖昧に感じた
- 今回，子供の世話をしながら参加することができた．本来は現場で集中して拝聴するべきなのかもしれないが，もし対面開催で出張となると参加できなかっただろうと思うのでありがたかった．また，海外を拠点にする研究者の話を聞けるメリットは非常に大きいと感じた．
- 遠隔地の人も聞きに行きやすい
- 早朝からの参加はオンラインの方がしやすいというメリットを感じました。

6. はいの場合，どのくらいの頻度で開催したら良いと思いますか

38 件の回答

7. 今後のショートコースでお話を聞いてみたい講師はいますか

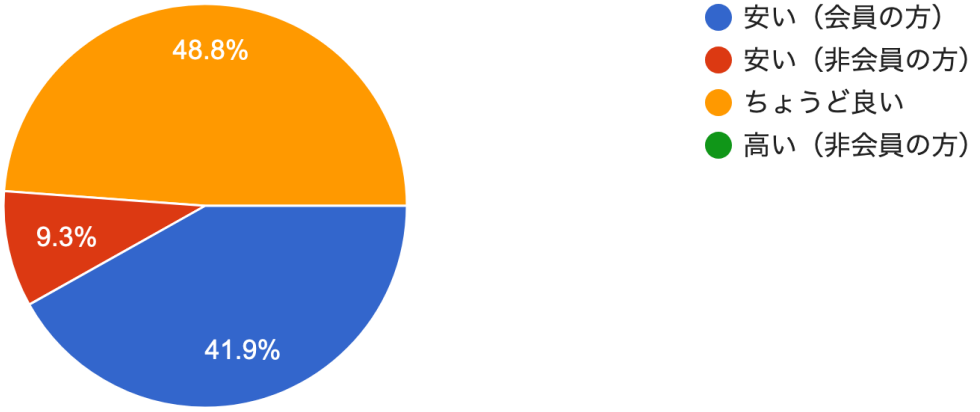
- 斎藤先生
- 鍵 裕之先生
- 外国人研究者のお話もぜひ聞いてみたい
- 英語の講義もあるといいなと思いました。
- 橘省吾先生，小宮剛先生
- オンラインであれば海外の方を希望します
- 巽 好幸氏
- 立川和代氏
- 西泉さん
- 普段お話を聞く機会の少ない（運営に回るなどして、発表をあまりなさらない）、研究者の方々。海外在住の研究者など。
- 飯塚先生 (東大)
- 蒲生俊敬先生
- 大河内直彦、関根康人、福士圭介、原田直美、飯塚毅、小宮剛
- 川口慎介さん（JAMSTEC）、原田尚美さん（JAMSTEC）、関根康人さん（東工大・ELSI）

8. 関心のある研究テーマをお聞かせください

- 地球深部の揮発性元素
- 同位体と宇宙地球化学に関して
- 古環境学
- 初期生命
- 自分の専門でないものを特にこういう機会では聞きたいです。
- 極域、南極の氷床融解や海洋循環
- 生命圏の地球化学
- メタンハイドレート
- 高圧地球科学
- 同位体比分析
- 宇宙化学，資源地質学
- 個人的には「炭酸塩岩」の話に興味があります。勉強不足かもしれませんが、日本語の教科書がありません。
- 岩石鉱物学、火山学
- 宇宙化学
- 大気-海洋表層間の微量金属の挙動について
- 月の惑星化学的な研究に興味があります
- 今回の八田先生のような、キャリア形成にかかわる講演は毎回1つあると良いと思います。
- 炭素循環、古気候学、古海洋学、分析化学、質量分析
- 固体地球の進化と地球表層環境の進化
- 沈み込み帯深部での流体活動
- 海洋の地球化学、微量金属、栄養塩
- 固体地球、宇宙化学、有機物、固液界面、大気、気候、地球史
- 最先端分析技術とその応用
- いわゆるデータ駆動サイエンスをやってる人たちの話は地球化学と相性が良いのではないかと思うので、話を聞いてみたいです。
- 惑星科学、宇宙・地球化学
- 宇宙化学、同位体化学
- 大気・海洋化学、生物地球化学、素過程を対象とした地球化学、それらの分野の惑星科学への応用

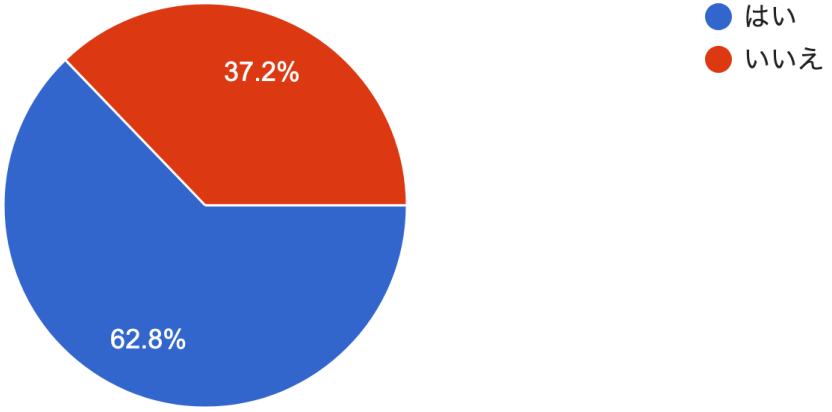
9.　オンラインショートコースの参加費について

43 件の回答



10.　2020年度　地球化学会第67回オンライン年会へは参加予定ですか

43 件の回答



11．今回，もしくは今後の日本地球化学会ショートコースについて，また，地球化学会年会について，ご感想ご意見があればご自由にお書きください

- 女性研究者のキャリア特に家庭（育児や出産）との両立について聞きたいです。特に比較的早い年齢でご結婚、出産なされた方です。参考にしたいです。
- 初参加の非会員学部3年ですが、楽しめました。ありがとうございます。
- 非常によい試みだったと思います。人選も人数もよかったように思います。
- 初めてこのような学会のショートコースに参加しましたが、非常に楽しい講義でした。
- 運営側の準備も大変だったと思いますが、大変よくオーガナイズされていたと感じました。チャットの質問箱は（背後の子どもたちの騒ぐ声を気にすることなく）気軽に質問できて良かったです。ありがとうございました。
- 一日でまとまって講演が聴ける方が個人的には助かるので、できれば年１とか多くても２くらいで開催の方がいいかなと思いました。オンラインで続けるなら地球化学会年会と時期をずらしてもいいかも？と思いました。学会前後だと発表で忙しい方も多いし、地質学会と時期が近くてショートコースに参加できない方も多いのでは？と思いました。

- 英語に関する講演は面白かったので、またやってほしいです。
- 会員はショートコース参加無料ということだけでも、会員の維持に貢献するかもしれない。運営のみなさん、ごくろうさまでした。
- 運営ありがとうございました。とても興味深く聞かせていただき、勉強にもなりました。オフラインでの学会が可能になった際には、オンラインで今回のような講義、オフラインで先生方との対話であったり若手同士での交流に力を入れられると良いと思いました。
- 若手の活躍が素晴らしい。若手がアクティブな学会は学会としても今後伸びていくと思う。
- 貴重な機会をくださり、ありがとうございました。年会も含めて次回のショートコースも出来る限り参加したいと思います。
- 非会員です。参加させて頂き、どうもありがとうございました。
- 研究よりもキャリアの話の方が若手としては気になります。
- 企画幹事の皆様、本当におつかれさまでした。大満足でした。
- 講義はオンライン形式でも十分楽しめますが、コミュニケーションは既に知っている方でないかぎり、オンラインでは醸成しにくいと思っています（飲みュニケーション）。なのでやはりハイブリット形式（参加しにくい人はオンラインで）を模索するのがポストコロナの学会運営かなと思います。

(つづき)

- ショートコースのように、色んな人の話を聞く機会は、院進を考えている学部生にとっても重要かと思うので、頻繁に開催してもよいのではないかと思っています（ランチョンセミナー的なノリで）
- 大変ありがとうございます。上手に運営するのは難しいのだなと見ているだけでも思い頭が下がります。
- この度はありがとうございました。次回も楽しみにしております。
- 今回のショートコースは若手会のような学生向けの印象を受けた。以前のショートコースは若手研究者・教員向けで科研費の獲得についてなど、有意義な話が多く、参加者も学生が少なくほぼ教員だったと思う。参加希望者の年齢を絞る必要はないが、ショートコースは若手研究者・教員向けの会だと思っていたので、内容に関しては期待外れに思った。
- ショートコースへの参加は実は初めてであったが，運営メンバーの努力のおかげで非常に興味深い話を沢山聞くことができた．大変感謝してます．本当にお疲れ様でした．
- たぶん不具合か、セキュリティにひっかかったかどちらかと思うので、今後は、配信不能の場合の補助的対応をツイッター以外でも行ってほしい。
- 運営の皆様、ありがとうございました。とても学びが多く有意義な時間となりました。今回が初めての参加でしたが、来年以降もオンラインでショートコースが開催されるようであれば、是非とも参加したいと思いました。